

HIROSE-HOSP. HIROSE-HOSP.

ひろせほすぷ
2015

平成27年度に向けて

昨年からはまった病床機能報告制度をもとに、今年は地域医療ビジョンの策定に向けた動きが具体化してきます。病床機能報告制度とは、病床をもっている病院・診療所が病棟ごとにその機能を「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の4つの中から選択するというものです。また地域医療ビジョンとは、地域の将来的な医療ニーズを踏まえながらその地域にふさわしいバランスをはかりつつ医療機能の強化と連携を図るというものです。超高齢化社会の中で、自院の特色と専門性を生かしながら生き残っていく道を探らなくてはなりません。川崎副院長の就任は、整形外科専門病院の特徴を生かしながら地域に貢献していく当院の理念を推し進める力となると信じています。

院長 ■ 廣瀬 友彦



この度、副院長を拝命いたしました川崎です。大変名誉なことであるとともに、身の引き締まる思いです。

昨今の医療を取り巻く変遷（急速高齢化や医療財政の逼迫など）によって地域での病院の立ち位置がどうであるのか求められつつありますが、我々は当院の理念である『専門性を生かした患者中心の医療と看護』という根幹を大切にやっていくことが一番大事だと考えています。院長を中心にスタッフ全員が同じ方向に向いていけるよう、副院長としての仕事は何なのか模索しながら、地域医療に貢献するために、微力ではありますが努力してゆく所存です。

何卒宜しくお願い申し上げます。

副院長 ■ 川崎浩二郎

■ 学 会 報 告 ■

第28回 日本手術看護学会年次大会に参加して



平成26年10月10日～11日、
第28回 日本手術看護学会年次
大会 in 福岡に参加してきました。

メインテーマ

「周術期チーム医療」

サブテーマは

「いのちに寄り添う手術看護」

チーム医療の目的は安全で安心な医療を提供すること。

また、患者さんの満足を向上させること。

そのために手術室看護師は専門的な知識と技術、倫理観をもつて患者さんに寄り添う。

術前、術中、術後において他職種のスタッフとの連携、また患者ご家族との連携も重要であると学びました。

他病院の研究発表や取り組みなど、実践できることは今後の業務に取り入れていきたいと考えています。



看護師 ■ 三浦 香絵

■ 学 会 報 告 ■

第36回 日本股関節学会学術集会に参加して

平成26年10月31日～11月1日に開催されました、第41回 日本股関節学会学術集会に参加をさせていただきました。

私自身、学会の参加は初めてであり、思っていた学会のイメージとは異なり、メイン会場のほかにランチオンセミナーやポスター発表、さらには医療機器の展示といった多数の会場が設けられており、興味がある発表を求めて動き回るといったスタイルに驚きました。どの発表も、勉強中の身である私には難しい内容のものばかりでしたが、先生が互いに意見や疑問をぶつけ合いながら知識を深めようとしている場面を目の当たりにし、私もいつか先生方と意見交換ができるようになりたいと感じました。また、発表方法についても学ぶべき点が多く、いかにして自分の考えをわかりやすく伝えるかという工夫が感じられ、今後の症例報告などの機会にぜひ活かしていきたいと考えています。

理学療法士 ■ 高木 美果

この度、日本股関節学会に参加させていただき、全国の病院での様々な取り組みを知ることができました。とくに印象に残ったことは、手術後の安静に伴う腰痛とその対策についてです。手術後は、手術部位の痛みにはかり意識が向いてしまいがちですが、患者さんにとっては、手術部位の痛みも腰痛も同様に心身のストレスの原因となるものです。少しでも手術後の患者さんが苦痛無く安心して過ごせるように、今起こっていない痛みにも目を向けて対策を行っていくことが重要だと改めて感じました。今回の学びをスタッフと共有し、よりよい看護ができるよう努めていきたいと思いました。

看護師 ■ 榎内かおり

学 会 報 告

第9回 医療の質・安全学会学術集会に参加して



平成26年11月22日～24日に千葉県の幕張メッセにて開催された「第9回 医療の質・安全学会」に参加させていただきました。

私自身、昨年につき2回目の参加となりました。今年は、「当院で入院されている患者様に対して転倒・転落を予防するために日常取り組んでいる活動内容」を発表させていただきました。全国各地から集まった医師や看護師、薬剤師、栄養士、理学・作業療法士など様々な多職種との共同学会であり、いろいろな刺激を受けた学会になったと思います。今後とも当院に来られた患者さんが、より安全に安心して入院生活が送れますよう、転倒・転落の発生の予防に努めていきたいと思います。

理学療法士 ■ 吉田健太郎

中学生職場体験学習

広瀬病院に10月8日～10日の3日間、木太中学校の男女2名が職場体験にやってきました。

もちろん2人にとっては初めての事ばかりでしたが、ひとつひとつのことに真剣に取り組んでおり初々しさを感じることができました。

中学生の彼等から若々しいエネルギーをもらうことができ、2人が礼儀正しく患者さんに接している姿を見て、改めて「初心」の気持ちを再確認できるいい機会になりました。

当院での短い期間の体験でしたが社会で働くということを少しでも学んでいただき、男の子は医師に、女の子は看護師になりたいという夢が叶うように心から願っております。



第8回 健康感謝祭



恒例となった第8回健康感謝祭を11月23日に行いました。
当日は、天候にも恵まれたたくさんの方々をお迎えでき盛況となりました。院内では血管年齢測定や骨密度測定など行いました。

循環器 心臓血管外科専門医 多胡 護 先生の講演
「突然 胸が痛くなったら…?」

たくさんの方が熱心に聞かれていました。



ホールでは「サンサン館みぎ 蓮連」によるダンスがおこなわれ会場を盛り上げていただきました。



パッチワークなど、
たくさん作品も展示
されました。



J2入れ替え戦 勝利!!

今年も頑張れ! カマタマーレ!! 応援しています。



医療法人社団研宣会

専門性を生かした

患者様中心の医療と看護



広瀬病院

〒760-0079 高松市松縄町35-3 TEL: 087-867-9911(代) FAX: 087-867-9988

ホームページ <http://www.hirose-hosp.or.jp>

Email info@hirose-hosp.or.jp

発行者: 医療法人社団研宣会理事長 広瀬友彦

編集: 広瀬病院広報委員会

発行日: 平成27年2月